

Young Investigator Committee 主催
第 10 回オンライン抄読会のご案内

第 10 回の骨代謝学会オンライン抄読会は、一部の後天性 FGF23 関連低リン血症性骨軟化症が抗 PHEX 自己抗体によって発症することを解明し、今年 1 月に New England Journal of Medicine 誌に報告された、東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科の星野 良朋 先生にご登壇頂きます。星野先生ご本人から、論文の内容や東大高柳研究室でご指導を受けた経験などについてお話頂き、本報告で活用したオーダーメイドの自己抗体検出システム (Luciferase Immunoprecipitation Systems: LIPS) の長所や短所、また今後の後天性自己免疫疾患の新規同定などを念頭とした共同研究の展開などについて説明して頂く予定です。多くの若手研究者にとって貴重な勉強の機会また共同研究の足掛かりになると思います。若手研究者の皆さんは奮ってご参加ください!

第 10 回担当：伊東伸朗（東京大学大学院医学系研究科 難治性骨疾患治療開発講座）

【日時】2025 年 3 月 10 日(月)18 時 00 分~19 時 00 分

【演者】星野 良朋先生(東京大学大学院医学系研究科 難治性骨疾患治療開発講座)

【論文】“Acquired Osteomalacia Associated with Autoantibodies against PHEX”

Hoshino Y, Okamoto K, Ogawa T, Kato H, Irie K, Watanabe S, Kimura S, Hidaka N, Kinoshita Y, Kobayashi H, Hagiwara D, Kogawa M, Takayanagi H, Tanaka S, Nangaku M, Makita N, Burbelo PD, Saito T, Ito N. Acquired Osteomalacia Associated with Autoantibodies against PHEX. N Engl J Med. 2025 Jan 30;392(5):513-515. doi: 10.1056/NEJMc2405746. PMID: 39879599.

【参加登録方法】

オンライン抄読会への参加は事前参加登録が必要です。

お名前、職位、所属と質問内容を記載の上、**2 月 28 日（金）**までに下記フォームよりお申し込みください。質疑応答は事前質問を優先いたします。

<https://jp.surveymonkey.com/r/2N5F3QD>

また、シニアの研究者の参加も歓迎いたしますが、質疑応答は若手研究者を優先いたしますことを、御了承ください。